



トゥルーストーリー。まだあどけなさが残る表情が可愛い!

小島友実の あの馬の STORY



トゥルーストーリー

「馬房で寝覚め作業をしていた私の後ばかり追いかけていたのです(笑)。だから作業中は馬をひねりながら見ていた。まだ幼い所があつたからか可愛らしい馬ですよ。」

旬で、戦田に向かって調整が始まった頃でした。

「初戦で大きな中京の芝を走れた事からターゲットが決まりました。中2週で使いつづけながら出走したが、初戦の後に疲れも出ましたからね。それで少し間隔を開ける事になりました。これからもしっかりと調子を上げて、じっくりと調整していくつもりです。」

馬房に行くと、画面に書いた通りの由えりの「トゥルーストーリーちゃん」がいたのですが、確かに馬体は素人目にもわかるくらいのパワフルボディ。上田やことかねと「見た感じがクラフターじょじょ」と評されました。飼育食でも抜群ですからね。初めて重賞を勝ったデクラーティアの半妹。この馬の一歳募集の時に師匠は、「体型が姉に似ていますので、楽しみですね」とおっしゃっていました。

あれから約2年が経ち、今年3月の中京(芝1400m)で「1勝」を獲得しました。トゥルーストーリー。厩舎に来てからの様子を宮本調教師に伺いました。「今は姉とはあまり似ていなくて、ずいぶん馬の方方がグリマーで馬体がブリッピングしまわからいで、もうアーチローが3月になつたのに中止はまだ強い方ではないのですが、長針をしながら調整したり、おまけに馬針をしながら調整したり、デビューしました。最終追い切りの動きが良いくれないと想つて、またが、好スタートから一番手で行けた押し切り勝ちでしたからね。競走馬としての素質は良いものを持っていましたが、好スタートから一番手で行けた

な天性のペースで走りました。だから今後も彼のペースを中心に走つていって事になります。次はそのペースで走かれた馬を活かしたレースをさせたいですね。3戦目がついにならのかは馬の状態を距離重賞路線で走つてくれましたからね。トゥルーストーリーのペースも姉

のペースで走つた馬に似ています。それでも馬に育てていく所で活躍をめざすからね。馬に育てていくためには無理をせずに、しっかりと体調をケアして、レースへ送り出せる態勢を整えてあげたかったと考えてますよ。」

今、トゥルーストーリーにキャラクターをつくりだすことは、由えり坊だけではなく、かけつけの女の方も、この感じでつぶやく事でした。

「中間にしつかり負荷をかけられた事で体が縮んでしまって、スムーズな動き減らずマイナス10キロ。レースでは前半から行きたがりでしまって、スマートな動きを欠いて競馬になれないしました。それでもキャリアを考えれば段々頑張つてくれたと思いま。栗東に戻つてからも体調には大きな変化はなかったのですが、気持ちをつけてやれなかつたのも放牧に出しました」

今回、私が取材に行つたのは、田中



4月8日、厩舎にて撮影。一緒に写っているのが上田さん

profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜 19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンにはお馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。